

日 時	平成29年10月16日(月)～18日(水) 13:30～17:30		
場 所	ニューウェルシティ宮崎 宮崎市宮崎駅東1丁目2-8		
講習会名	数字から読み解く、自社の現状と将来の創り方(連続3日×2回) ①		
講師名	アジア太平洋マネジメント 代表 青木 道生 氏		
主催者名	宮崎商工会議所		
レポート作成者	高橋 友美	レポート作成日	平成29年10月24日

◆ 決算書の簡易的な見方・読み方 ～貸借対照表と損益計算書～

[損益計算書とは]  $=P/L$

売上－経費＝利益 利益が出たかどうかを表す。1年間における累積値。

[P/Lの構成]

科 目	項目(例)	科目のについて
売上高	各社に適した売上項目	自社の売上の数字を項目ごとに分け、内訳を把握する。
売上原価	・仕入高 ・外注加工費 ・労務費	数字を分け、内訳を把握。
売上総利益		通称：粗利益 売上高－売上原価
一般管理費	・役員報酬 ・給与手当 ・法定福利費 ・福利厚生費 ・事務用品費 ・水道光熱費 他	＝諸経費 どこに無駄があるのか？ 事業ごとに細かく分ける 科目自体を細かく分ける
営業利益		売上総利益－一般管理費 会社が本業で稼いだ利益
営業外収益	・受取利息 ・雑収入	営業活動以外の活動によって発生した収益
営業外費用	・支払利息 ・雑損失	営業活動以外の活動によって発生した費用 支払利息＝0の場合は無借金
経常利益		1期間の正常な経営成績を判定するための尺度
特別利益	・固定資産売却益 ・前期損益修正益	臨時的、偶発的な原因によって発生する収益。 過去の誤謬の修正
特別損失	・固定資産売却損 ・前期損益修正損	臨時的、偶発的な原因によって発生する収益。 過去の誤謬の修正 災害による損失
税引前当期純利益		税金を支払う前の稼いだ利益
法人税等	・法人税 ・住民税及び事業税	当期の決算で会社が負担すべき税金
当期純利益		全ての収益から全ての費用を差し引いて計算される当期の最終的な純利益。

【貸借対照表とは】 = B / S (バランスシート) 資産 = 負債 + 純資産  
 会社の一定期間の財政状態を見ることができる。過去からの推移、流れ。

【B / S の構成】

資産の部	流動資産 ・現金・預金 ・受取手形 ・売掛金 ・在庫 など 1年以内にお金に換わるもの	流動負債 ・短期借入金 ・買掛金 など 1年以内に支払わなければならないもの	負債の部
	固定資産 ・建物 ・土地 ・車両運搬具 など 換金する目的でないもの	固定負債 ・長期借入金 など 1年を超えて支払わなければならないもの	
	その他	純資産 (会社の値札: 体力・価値) ・資本金 (会社を立ち上げる際 (後) 返済義務がない) ・利益剰余金 (毎年当期純利益が蓄積される) ※ 一番最初に見るのはB / Sの利益剰余金が- (マイナス) かどうか? = 債務超過・・・会社として一番良くない状態	純資産の部

【財務上の重要な論点】

- 流動とは・・・1年以内
- 固定とは・・・1年超
- 流動比率とは・・・1年以内にお金に代わる流動資産と流動負債の割合。200%以上  
 ※ 但し、「実バラ」で  
 「実バラ」とは？実態バランスのこと。回収できない売掛金、貸付金、減価償却不足分等を差し引き、会社の経営実態を正確に把握。
- 不良債権とは・・・資産の部にあって、お金に代わらない資産。在庫の中で長年売れず劣化した商品など。
- 資産超過とは・・・負債の部より資産の方が大きい  
 資産超過にするには？  
 ・資本金を増やす・利益剰余金を増やす
- 債務超過とは・・・純資産の部がマイナスになっている  
 債務超過を解消する期限～原則5年  
 今の売上に合わせた費用の削減が必要
- 自己資本比率とは・・・資産の内、純資産がどのくらいの割合なのか？  
 - (マイナス) の場合債務超過  
 自己資本比率を上げる為  
 ①一般管理費の削減 ②創意と工夫による粗利の改善 ③営業改善

0～10%	10～20%	20～30%	30～50%	50～100%
極めて悪い 脆弱	悪い	普通	良い	大変良い

- 財務分析ツールの活用・・・中小企業基盤整備機構が提供するインターネット上のシステム「経営自己判断システム」項目に従い入力し、診断ボタンを押すと「CRDスコア」という、金融機関や信用保証協会なども使用するスコアリングが表示される。

「CRDスコアの目安」

50点以下	50～55点	55～60点	60～70点	70～100点
極めて悪い	悪い	普通	良い	極めて良い

【「損益」(利益)と「収支」(カネ)】

- 損益とは・・・＝利益 (P/Lにおける)
- 収支とは・・・入ってきた金 (収入) と出ていった金 (支出) の差額
- 固定費とは・・・売上の増減にかかわらず、一定にかかる経費 (おおむね一般管理費のこと)
- 変動費とは・・・売上の増減に伴い、同等程度増減する経費 (おおむね売上原価のこと)
- 損益分岐点とは・・・利益がちょうど「0」となる地点の売上高
- 固定費÷{1 - (変動費÷売上高)}

【再生が必要な企業の決算書を使用した分析と予算策定】(グループ形式での演習)

1. 第18期実態B/Sの作成～回収が見込めない貸付金、ゴルフ会員権などを除いていく
2. 一連の財務分析 (どこに何が起こったか)～3年間の中で増減の多い項目で判断していく
3. 第17期損益分岐点の算出と気付いた点～売上をどれだけあれば債務超過にならなかったか?
4. 第19期予算の策定 (空白P/Lに数字をうめる)～何を削減するのか?何をどうすべきか?
5. 上記④を達成させるために具体的にどうするか? (戦略論)～売上を上げるためには?
6. 上記④⑤に関して貴方が経営者なら、この会社を大局的にどうする?

以上の問題をグループで考えてグループごとに発表した。

【この3日間のセミナーを受講して】

毎月、伝票を作成し入力が終わると、会計ソフトを使用しているので試算表を印刷してその月の仕事が完了していました。試算表からどう会社の状態を見るのか?見ても損益計算書の当期純利益の金額しか見ていませんでした。

まだ、はっきりとは分かりませんが、少しだけ試算表の見るポイントが分かったような気がします。今までは貸借対照表の重要性も把握していなかったことにも気づくことができました。

11月にはもっといろんなことを学べるのが楽しみです。

3日目のグループ演習ではあまり自分の意見が言えませんでした。次回はちゃんと発言できるようにになりたいです。